題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
みかんとりんご	中学部	美術 グループC （美術）	

＜ねらい＞

①普段食べている果物を認識する。

②作業を通して・包む・貼る・描くなど体験から、手指の動きを高めるとともに身近な道具を使うことに慣れる。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1．名前を呼ばれたら、返事をする。	1　①お名前呼びの歌を歌う。 ②教師や友達に名前を呼ばれたら、返事をする。	授業の始まりを意識させる。 ・歌詞を書いた紙を、前に貼る。
2．「♪りんごころころ」の手遊びで、手指の準備運動をする。	2　歌に合わせて、歌詞に出てくる野菜や果物を形容したり連想する動作を、楽しく表現したりする。	・歌はアカペラで、教師と生徒が歌う。 ・歌に出てくる野菜や果物を、絵で確認する。
3．みかん・りんごを作ろう。	3　①新聞紙を丸めて、制作物の芯をつくる。 ②みかんとりんご：新聞紙の芯に、模造紙で包む。 ③みかん：マジックでみかんの表面や軸などの特徴部分を描く。 ④りんご：マジックでりんごの表面の特徴を描く。 ⑤りんご：⑤を赤色セロファンで包み、拾ってきた木を軸に見立てて刺す。	準備物 新聞紙・模造紙・はさみ・セロハンテープ・のり・マジック・赤色セロファン ＊りんご用に木の枝（校内で収集） 授業の終わりを意識させる。
5．成果発表	5　自分がつくった作品を友達に見せたり、友達のつくった作品を見たりする。	授業の終わりを意識させる。

＜内容（工夫点など）＞

実物のみかんとりんごを持参し、生徒達にそれらを観察してもらいながら製作活動を行なった点。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞

良かった点：実物の果実を持参したことで、生徒達の認識を確実にすることができた点。

改善点：軸の長さを任意にしたことで、規格外のサイズの作品をつくる生徒がいた点。